レンズリフォーマーA セット

標準施工台数 10 台

手作業で

樹脂レンズの濁り、黄変を除去！

劣化防止剤『スーパーコルサ』で長期保護！！

特徴

樹脂レンズの濁り、黄変等を簡単に、除去できます。
スーパーコルサで長期にわたり劣化保護します。
短時間で照度 UP、ドレス UP が、可能です。

注）レンズ表面のトップコートの欠落、樹脂の傷等は、修復できません。
欧州車、特に仏、英車の一部で特殊コートが施してあるレンズは修復できません。

品名	数量	
ﾚﾝｽﾞ用ｺﾝﾊﾟｳﾝﾄﾞ ﾚｼﾞﾅ 603 100g	1	
ﾚﾝｽﾞ用ｺﾝﾊﾟｳﾝﾄﾞ ﾚｼﾞﾅ 605 100g	1	
ﾚﾝｽﾞｸﾘｰﾅｰ ﾚｼﾞﾅ PC-1 250cc	1	
ﾚﾝｽﾞ用劣化防止剤 ｽｰﾊﾟｰｺﾙｻ 20cc	1	
ﾊﾞﾌﾚﾊﾟｯﾄ S	1	
ﾊﾞﾌﾚｯｸｽｼｰﾄ ﾌﾞﾗｯｸ	10	注）下記補充部品参照
ﾒﾗﾐﾝｽﾎﾟﾝｼﾞ 30×38×20mm	10	
ｽﾎﾟｲﾄ 1cc用 GI-0991-13	10	
ﾐﾆﾄﾚｲ 角 2 連 62×50×9mm	3	
ｺｯﾄﾝｼｰﾄﾊﾟﾌ 6×5cm	3	
ﾏｽｷﾝｸﾞﾃｰﾌﾟ 12mm×10m	3	
取扱説明書	1	

使用上の注意

- 用途以外には使用しないで下さい。
- 樹脂面に本液剤を長期間放置しないで下さい。
- 樹脂面が熱い時や直射日光下では使用しないで下さい。
- 作業は換気の良い所で行って下さい。
- 皮膚および眼に触れないようにして。下さい
- 子供の手の届かない所に保管して下さい。
- 火気のある所では使用しないで下さい。
- 凍結を避け室温で保管、輸送して下さい。

施工前

施工後

テールレンズも同様にキレイになります！

注）補充部品

液剤の補充は、
ｽｰﾊﾟｰｺﾙｻ 20cc×2 本入り

他は、セット内容と同じです。

標準施工料金

普通車

￥4,000～￥8,000

レンズの大きさ、劣化程度により異なります。

作業手順 別紙参照

■詳細は内容が必要な場合には、製品安全データシート（MSDS）を請求下さい。

レンズリフォーマー　施工手順

①

水を絞ったタオル等でレンズ面と
周囲の汚れを拭き取ってください。
次に、ボディにキズがつかないように、
レンズの周囲にマスキングテープを
貼ってください。

マスキングテープ

②

研磨パットに研磨ペーパーを四隅を
あわせて貼り付けてください。
レンズ面に水を掛けながら、縦横に
削り込んで下さい。

研磨パット（右）
研磨ペーパー（左）

③

研磨したレンズの水分をよく拭き取り、レジナ６０３を市販のタオル等に適量付け白くなったレンズ面を透明感が出るまで縦横に磨きます。

レジナ603

④

次にファインクロスなどのやわらかい布にレジナ６０５を適量付けて、細かなキズが目立たなくなるまで磨きます。

レジナ605

⑤

水を絞ったタオル等でレンズ面の
コンパウンドを拭き取ってください。
次に適量のクリーナー（レジナPC-1）を市販のペーパータオル等に付け、レンズ面に残ったコンパウンドの油分を拭き取ってください。

レジナPC-1

⑥

付属のスポイトでスーパーコルサを
1ml トレイに入れて下さい。
（大型レンズでも1ml で十分に塗布できます）

⑦

付属のスポンジを包み込むようにコットンを巻きつけて、スーパーコルサをしみ込ませてください。

⑧

スーパーコルサを塗り残しのないように
縦横に塗り伸ばしてください。

⑨

スーパーコルサを塗布後、３０分以上乾燥させて下さい。

⑩

水をたっぷり含ませたタオル等で
スーパーコルサの余剰分を
洗い流してください。
その後、固く絞ったタオルで
レンズ面の水滴を拭き取ってください。

⑪

マスキングテープを剥がし、
ファインクロス等のやわらかな布で
拭き上げて完成です。

レンズリフォーマー　取扱説明書

■内容

1	レンズ用コンパウンド　レジナ　603　100g	1
2	レンズ用コンパウンド　レジナ　605　100g	1
3	レンズクリーナー　レジナ　PC-1　250cc	1
4	レンズ用劣化防止剤　スーパーコルサ　20cc	1
5	バフレパット　S	1
6	バフレックスシート　ブラック	10
7	メラミンスポンジ　30×38×20mm	10
8	スポイト　1cc用　GI－0991－13	10
9	ミニトレイ　角2連　62×50×9mm	3
10	コットンシートパフ　6×5cm	30
11	マスキングテープ　12mm×10m	3
12	取扱い説明書　（本紙）	1

①液　レンズ用コンパウンド　レジナ　603
●名称　　　自動車レンズコンパウンド
●用途　　　自動車レンズ部汚れ落し研磨
●成分　　　ソルベント、研磨剤、乳化剤
●内容量　　100g
◆危険物区分　第４類　第２石油類　危険物等級Ⅲ

②液　レンズ用コンパウンド　レジナ　605
●名称　　　自動車レンズコンパウンド
●用途　　　自動車レンズ部仕上げ研磨
●成分　　　ソルベント、研磨剤、乳化剤
●内容量　　100g
◆危険物区分　第４類　第２石油類　危険物等級Ⅲ

③液　レンズクリーナー　レジナ　PC-1
●名称　　　自動車レンズクリーナー
●用途　　　自動車レンズ部汚れ部洗浄及び脱脂
●成分　　　非イオン界面活性剤、アルコール類
●内容量　　250cc
◆危険物区分　第４類　第２石油類　危険物等級Ⅲ

④液　劣化防止剤　スーパーコルサ　20cc
●名称　　　自動車レンズコーティング剤
●用途　　　自動車レンズ部保護皮膜形成
●成分　　　変性シリコン、アルコール類
●内容量　　20cc
◆危険物区分　第４類　アルコール類　危険物等級Ⅱ

警告　引火性注意	飲用不可　火気厳禁

■応急処置

■万一飲み込んだ場合は、すぐに水で口をゆすぎ、多量の水または牛乳をのみ、医師の診断を受けて下さい。
■誤って目に入った場合は、直ちに流水で15分以上十分に洗浄し、 医師の診断を受けてください。
■皮膚に付着した場合は、石鹸等で十分に洗い流してください。
■使用中に気分が悪くなった場合は、直ちに使用を中止し、通気の良い所で安静にしてください。気分が回復しない場合は、医師の診断を受けてください。

■保管及び廃棄方法

■子供の手の届かない場所に保管してください。
■接着剤は必ず密封し,凍結を避け、直射日光のあたる場所や40℃以上になるところには保管しないでください。
■廃棄の際は、地域の法令に従い適切に処理してください。

警告

■全ての液剤は、人体に害がありますので故意に吸入、点眼したり飲まないでください。
■目に入ると障害を生じる恐れがありますので十分に注意してください。
■皮膚の弱い方はかぶれる恐れがありますので保護手袋を使用して下さい。

注意

■用途及び使用方法以外では使用しないでください。
■本説明書に記載されている警告、注意事項に従わない場合及び誤った使用をされた場合、また、天災やイタズラ等による事故、故障、破損につきましては当社では一切その責任、保証をおいかねます。
■製品の仕様は予告無く変更になる場合があります。

注意事項　ご使用前に必ずお読み下さい

◆ヘッドライトの表面は樹脂系コート材が施してあります。このコート材には硬い物から柔らかい物まで幅が広くあります。
硬いコート材の場合は黄ばみ・傷が取りづらく、逆に柔らかいコート材の場合は、磨き曇りが入り修復が難しいです。
柔らかいコート材の施してあるヘッドライトの作業は本製品では避けてください。（柔らかいコート材使用車例；プジョー・ルノー等のフランス車）
また、表面コート材が著しく痛んでいるもの（ひび割れ等）は修復不可能です。

【施工前】

◆水滴や砂埃等を避けるため、風の強い日や屋外での作業はなるべく避け、屋内の換気の良い場所で施工するようにしてください。
◆本製品は車のライトレンズ部分の黄ばみ、白ボケを除去し、透明保護皮膜を形成するものです。それ以外の用途、部分には施工しないでください。
◆黄ばみ、白ボケ、その他の汚れは、劣化や汚れが材質の表面から入り込んでいる深さにより、完全には落しきれない場合もあります。
また、バルブ装着側（内側）からの熱による劣化や汚れの付着については、外側からではおとせません。
◆「施工手順」をよく読んでから施工して下さい。

【下地処理時】

◆シリコンオフ・石油系クリーナー等は絶対に使用しないでください。レンズ面に亀裂・ヒビの入る危険性があります。

【劣化防止剤　スーパーコルサ塗布時】

◆太陽の直射下では短時間で透明な皮膜になりますが、時間に余裕がある場合は出来るだけ長く放置した方が皮膜の定着がより安定化します。
◆気温の低い日に施工する場合は、レンズ面から30cm程度離した位置からドライヤーの温風をあててやると皮膜形成時間が短くなります。その際、レンズを傷める場合がありますので、ドライヤーの温風は一箇所に集中してあてず、レンズ面全体に均等にあててください。
◆余剰分を洗い流した後は、乾いたウエスやタオルを使用するとスリ傷の原因になりますので、水を固く絞った柔らかいウエスやタオルで水滴を拭き取ってください。

【施工後】

◆完全硬化するには２４時間程度かかります（気象条件等により差はあります）その間、レンズ面に強い衝撃や摩擦等が加わるとコーティング皮膜に傷が入る場合がありますので、洗車等はしないでください。

◆施工面を研磨剤の入った液剤（光沢復元剤、水垢落し剤、コンパウンド入ワックス等）や硬いブラシなどで擦らないでください。コーティングが削れてしまい、レンズ面の保護効果が失われてしまいます。

◆正しく施工した場合は、走行条件、保管場所や洗車回数によりますが、約１年持続します。